

### 経歴年譜：秋田成就

---

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

社会労働研究

(巻 / Volume)

40

(号 / Number)

1-2

(開始ページ / Start Page)

12

(終了ページ / End Page)

15

(発行年 / Year)

1993-07

# 経歴年譜

- 一九二二年一〇月三〇日 熊本市に生れる
- 一九四二年 九月三〇日 第五高等学校文科（旧制）卒業
- 同 年一〇月 一日 東京帝国大学法学部政治学科入学
- 一九四三年二月 八日 学徒徴兵により軍務のため休学
- 一九四五年 九月 一日 東京大学法学部に復学
- 一九四七年 九月三〇日 同卒業
- 同 年一〇月 一日 東京大学法学部大学院（旧制）入学
- 一九五〇年 九月三〇日 同終了
- 一九五〇年一〇月 一日 東京大学社会科学研究所助手
- 一九五七年 三月三〇日 同辞職
- 一九五七年 四月 一日 法政大学助教授 社会学部勤務
- 一九六〇年 三月 法学博士の学位を受ける（法政大学）

秋田成就

一九六〇年 四月～一九六二年三月 東京大学社会科学研究所研究員（非常勤）

一九六一年 四月 一日 法政大学教授

一九六一年 四月～一九六九年三月 イギリス シェフィールド大学留学

一九七三年 四月一日～一九七四年三月三十一日 社会学部学部長・法政大学評議員

一九八六年 四月一日～一九九三年三月三十一日 ポアソナード記念現代法研究所研究員

一九八九年 四月一日～一九九一年三月三十一日 大学院委員会議長・法政大学評議員

一九九三年 三月三十一日 法政大学定年退職

一九九三年 四月 一日 法政大学名誉教授

○講師（非常勤）

中央大学法学系大学院、横浜国立大学経済学部、同学芸学部講師

○学会

日本労働法学界代表理事（一九八四年～一九八六年）

○その他の公職

神奈川県地方労働委員会公益委員・同会長（一九七五年より現在に至る）

主たる著書・論文

法学概論

法政大学出版局 一九五八年

権利のための労働法（共著）

同 一九六〇年

休憩・休日・休暇「労働法実務大系第一二巻」

総合労働研究所 一九七三年

労働基準法講義（共著）

青林書院 一九七三年

賃金「経営法学全集第一七巻」

ダイヤモンド社 一九六五年

就業規則と労働協約（新版）

日本労働研究機構 一九八六年

労使関係法（新訂版）

同 一九九一年

労働契約

同 一九九一年

高齢化社会における社会法の課題（編著）

日本評論社 一九八三年

国際労働基準とわが国の社会法（編著）

日本評論社 一九八七年

日本の労働慣行の変化と法（編著）

法政大学出版局 一九九三年

労働契約の法理論 イギリスと日本（編著）

総合労働研究所 一九九三年

「イギリス労働組合法史におけるコンスピラシー」

労働法学会誌一五号 一九五五年

「労働法における『身分から契約へ』」石井照久先生追悼論集「労働法の諸問題」

勁草書房 一九七四年

「労働契約における権利と義務の考察」有泉亭先生古稀記念「労働法の解釈理論」

有斐閣 一九七六年

「就業規則の法的性格と変更の効力」沼田・本田・片岡編

「シンポジウム労働者保護法」

青林書院 一九八四年

「団体交渉権の権利の性格について」外尾健一編「不当労働行為の法理」

有斐閣 一九八五年

「国際労働基準とわが国の労働時間立法」(一)(二)

社会労働研究三三卷三・四号、三四卷一号 一九八七年

「チェック・オフ制度について」

季刊労働法一五五号 一九九〇年

「日本の雇用慣行と労働契約」(一)(二)(三)

社会労働研究三六卷四号、三七卷二号、三八卷三・四号

一九八九～九二年

Employment Practices versus Contract in Japanese Firms

社会労働研究三九卷二・三号 一九九二年

翻訳

Eric L. Wigham

「労働組合」(共著)

紀伊国屋出版部

一九五八年

Maurice Bruce

「福祉国家への歩み」

法政大学出版社

一九八四年